

第2回学校評議員会議事録

I 日時 平成27年(2015年)11月13日(金)12:30～13:30

II 会場 南安曇農業高等学校 会議室

III 参加者 (敬称略)

【評議員7名】	同窓会長	鈴木 章文
	元PTA会長	矢口 茂芳
	安曇養護学校長	下川 威
	安曇野市民生児童委員	坂内 りつ子
	安曇野市相談員	山地 恵津子
	「ばんどこ」社長	忠地 繁治
	長野県建設業協会安曇野支部副支部長	小林 重徳

【学校評議員会運営委員10名】

学校長	西村 清利	教頭	田中 信明
事務長	内野 祐志	教務主任	続木 宏英
進路指導主事	武藤 穰	生徒指導主事	桜井 智成
生徒会指導主任	宮田 勝昭	農場主任	小池 晃
評議員係	横山 哲司	評議員係	本田 耕一

IV 配布資料

次第、進路資料、収穫祭農場報告、新聞記事に見る南農高校

V 次第

- 1 開会の言葉
- 2 学校長挨拶

いろいろな形で学校が動いております。安曇野市との連携協定の締結。今模索をしています松本大学との連携を視野に入れながら、地域連携をさらに深め子どもたちの教育に生かしていきたい。先月、中学生の第1回の希望調査が新聞報道されましたが、前期選抜では本校グリーンサイエンス科が県下最高倍率ということで非常に多くの子どもたちに希望していただいている学校であります。来年度、本校は文科省が計画をしておりますスーパープロフェッショナルハイスクールという事業に申請をしようということで計画しています。子どもたちにどのような教育をしていくのかというのは、学校の方向付けをしながら、子どもたちを育てていくためには重要な部分だと考えておりますので、具体的にどういふものを盛り込んでいけばいいのか、その辺のご意見もいただければと思います。大事なことは、子どもたちがこの地域を担う人材に育っていつてもらえることが本校にとっては一番の命題かと考えております。忌憚のないご意見をよろしく願います。

3 議事

(1) 学校の様子について

① 学校評価について

次回の第3回の評議員会の時に、生徒や保護者からのアンケート評価を見ていただいて、それをもとに最終的に皆様から関係者評価としてお言葉をいただきたいと思います。本日は中間ということで、収穫祭の様子や生徒の様子をもとに、アドバイスいただければと思います。

② 農場

本日の収穫祭では、子どもたちの活動を見ていただきたいということで、2年次の農家研修や企業研修、平成18年度から行っている高大連携の一つ富士アニマルファームでの研修について見ていただきました。

本校は大きな特徴として、地域交流を盛んに進めています。その地域交流では、出ていくだけでなく、多くの関係機関から声をかけて頂き、子どもたちにコミュニケーションの場や自信をつけさせていただける場を提供していただいております。反面、土日の活動が多く、子どもたちに負担もないかと心配している点もあります。しかし、

子どもたちが地域交流を通して自分に自信をつけ、自分を向上させることができますので、地域交流については、力を入れていきたいところであります。

今年度初めての試みとして、安曇養護学校分教室の子どもたちに、本校が実施している資格取得を受ける機会を持ちました。また、フルーツコースの子どもたちも交流活動していますが、地の利を生かした交流ができていていると思います。

③ 進路

本年度は就職希望者が多く 54 名（昨年度 41 名）います。そのうち 47 名が決定しています。86%の決定率です。昨年の同じ時期は 79%でした。今年度は、求人数が多く、雇用情勢が変わったのか、良い方向に動いています。

特徴としては、本年度、環境クリエイト科の生徒が土木、造園など学びの延長にある企業に多く就職しています。また食品企業、サービス業など、そういった企業へも、本校で学んだり、身に付けたりした能力を活かした就職先に就職しています。また、今年頑張ってくれたのが、公務員試験です。すでに合格した生徒は、安曇野市役所、松本市役所に合格しています。また、県職につきましても、1次を突破して、2次試験の結果待ちという生徒もおります。この子たちの中には国家公務員にも合格している生徒もいます。そういった部分では、就職ではいい結果を残せているのではと思います。

大学希望者 23 名です。昨年より 2 名増えています。農業大学校についても 1 名増加しています。減っているのは専門学校と短期大学志望者です。これについては、今までは就職状況が厳しい中で、とりあえず資格を取りに進学しようとしていた生徒が、今就職の状況が良いので、就職しようという生徒が増えていると思います。本校で学んだ活動、学習内容などを武器にして就職・進学に進んでいる生徒が多いのではないかと思います。目的を持って、意欲を持って、いろいろな活動・学習に取り組み、それが将来につながることを目指していきたいと思います。

④ 生徒指導

校内では、大きな問題もなく現在にいたっています。

1 点目、スマートフォン、携帯電話が手放せない生徒が多く、休み時間になるとすぐにゲームをするという生徒が多い状況です。本校では、携帯電話を規制ができていないのが現状です。

2 点目、自転車事故が増えています。本年度はすでに 6 件起きています。交差点での発生がほとんどです。生徒指導の交通係から、教室掲示用のポスターを作り、担任から指導しているところです。

3 点目、部室で盗難がありました。サッカー部のマネージャーの部室で、盗まれる事例がありました。外部の犯行も考えられるため警察へ届け出ています。

不審者情報も増えています。先日も南豊科駅前前で不審者が出たということで、生徒へ注意喚起を促しています。2 年生は上級検定、3 年生は卒業論文の学習等で、帰りが遅くなっています。保護者へ連絡をし、また、一人で帰らないような指導をしています。

⑤ 生徒会

生徒会は、10 月中旬に選挙が終わり役員の引継ぎとなります。正式には 12 月の中旬の生徒総会を持って引継ぎになります。2 年生、1 年生が来期の生徒会を担うための方策を考えています。クラブの関係では、県の縮断駅伝で、陸上部の生徒がそれぞれの地区の代表でエントリーしています。また、囲碁部が県大会を勝ち抜き北信越大会へ出場します。

今年の生徒会は、継続性を考えた取り組みをしています。先輩から後輩へ、生徒から生徒へ活動が続いていくことを今年の大きな目標にしています。一年生からも役員を出しています。生徒会の役員をやる生徒は、研究部の部長も兼任するなど、すべてにおいて一生懸命取り組む生徒が多いです。

(2) 学校評議員より

① 同窓会会長

成果を上げている様子がうかがえます。特に進路状況も大変良い成績であり、その背景の中で中学校から希望している生徒も多いとのこと、ますます良い方向に向かっているのではないかと思います。お忙しい先生方が多いと思いますが、今後も継続した指導をしてほしいと思います。素晴らしい子どもたちが育っているというように思います。

② 元PTA会長

先生方に努力していただき、就職も順調ということで嬉しく思います。進学もこれから本番だと思いますが、来年度の推薦先を少しでも確保していただけるように、国立大学の希望が少しでも持てるようお願いしたいと思います。

③ 安曇養護学校長

生徒も職員も大変お世話になっております。いま安曇野分教室は良い状況です。分教室が良いのは、お借りしている高校が充実しているからだと思います。今年の子どもたちは、一般就労も全員決まっている。平成30年に全国高文祭が長野県ということで、特別支援学校も参加しなければいけないということで、どのように参加していけばいいか、検討しているところです。今日の発表のなかで、学校の中身を充実させたいというところを参考にさせていただきたいと思います。普段の活動や発表を大事にしていくことが、それにつながると感じました。

④ 安曇野市民生児童委員

学校を卒業してからどのように生きるかを大事にしている学校で、いい学校だと感じました。また南農の生徒が毎朝家の前を自転車に乗って通っていきませんが、挨拶が良くできる子どもさんと、気持ちのいい朝を迎えることができています。

⑤ 安曇野市相談員

今年、文化祭を初めて見ました。地域の方々が大勢いらして、また生徒の威勢の良い声が飛び交っていて、びっくりしました。また、販売実習で地域とのつながりを感じました。職場の前まで、生徒さんがリアカーで花を販売していますが、その姿を見て、学校の中の学習も大事だが、外へ出たり、会話をしたりして、コミュニケーションをしていくことがどれだけ大事かということを学んでほしい。花を売っていた子どもたちは、とっても良い対応でした。外へ出るというのは、大変な面もあるかと思いますが、もっともっとそういう活動をやってほしいと思います。

⑥ 「ばんどこ」社長

インターアクト部の地区の大会では、大変お世話になりました。インターアクトの大会は、それまでは、大人が組み立てたものを、生徒さんに動いていただいたのですが、今回は初めて、生徒や先生が企画から運営まですべてやっていただきました。ただ、表に出てくる生徒だけでなく、生徒全てのレベルを引き上げていくのは難しいと思います。これからも努力をお願いしたいと思います。

⑦ 長野県建設業協会安曇野支部

建設事務所並びに建設業協会との合同で研修会をやらせていただいておりますが、非常に実のある形で、良い方向でやっているということをお聞きしています。この点は就職に結びついているのではないかと考えています。今後も研修会を充実させていただきたいと思います。

このところ自転車の法令が変わって、自転車事故で一生の生活が変わってしまうこともあるのですが、学校ではどのような指導をしているか。

もう一つ、いじめの問題です。この点について学校では、どのような指導をされているか。お聞かせいただきたい。

(3) 質疑 意見交換

① 自転車事故について

<回答>

法令が厳しくなったことについては、交通係より掲示物を配布し、担任より指導しています。事故が多いのは、朝の登校の時間が多くなっています。慌てていて事故に遭うことが多くなっています。ゆとりを持った行動をするように指導しています。

② いじめについて

<回答>

学校教育目標の一番にいじめのない安心安全な学校を、という目標を掲げてきました。そのメインとなるような活動の一つとして、キャリアカウンセリングを実施し、全生徒を全職員が面談をして、困ったことがないか拾い上げるということに取り組んでいます。また、年2回無記名でアンケートを取っています。現状では、ひどいいじめ

はありませんが、スマートフォンでの誹謗中傷等の件が2件挙がっています。関係職員から指導して、おさまっている状況です。今年度は、いじめのない学校づくりに力を入れ、今後さらに学習活動の充実を目指していきたいと思っております。

③スーパープロフェッショナルハイスクールについて

土日全部出るのは、大変かもしれないが、子どもたちにとっては、地域交流がエネルギーになっている子どももいるので、やる気を削がないような、ブレーキをかけないような指導をしてほしい。

<回答>

12月に安曇野市と連携活動の一つとして、都市と農村との交流ということで、東京の板橋区大山商店街での販売実習に参加します。また穂高神社で行われる11月14日からの新そば祭りにも参加します。頑張っている生徒を見て、発達段階での体に害がないように、逆にブレーキをかけるぐらいのほうがちょうど良いぐらいではないかと思っております。また、農業クラブでも開放講座を実施しています。この講座は多い所で12回実施しているコースもあります。来年、全国植樹祭は長野が開催県となっています。準備は、農業高校が中心となって取り組めますが、本校ではフラワーコースが、中心になって取り組んでいます。

④開放講座は具体的に何をやっているのか。

<回答>

フードコースであれば、味噌作りやソーセージなど製造にかかわることをやっています。環境クリエイト科であれば、石割をやってみたり、測量してみたり、生物工学であれば、野菜を育ててみたり、肥料を作ってみたり、培養してみたり、それぞれのコースが、自分たちの学びを活かして、子どもたちが計画をして、取り組んでいます。

⑤入学した生徒が全て卒業していくわけではないようだが。

<回答>

本校では、くくり募集ではなく、入学時に学科を決めています。学科指定で入試をします。入学後に学科を変えることができません。中学生はしっかり調べて受検をしますが、中には、自分の思い描いた進路とは内容がちがったという生徒もいます。平均すると毎年2～3名方向転換する生徒はいます。学校としては、そういう生徒が1人でも減るように取り組んでいます。くくり募集ではない理由は、出口のレベルを下げない目標を持っているからです。1年から専門教育ができることで、社会で通用するここまで教えたいというレベルを維持したいと思っています。

⑥志望者が多ければ、募集枠を増やしてもいいのでは。

<回答>

具体的な働きかけはしています。長野県全体の動きの中で、県が耳を傾けるのは、地域の声、産業界の声、中学生の声が上がってくれば、そういう方向に動きやすいのではないかと思います。

(4) まとめ (学校長)

貴重なご意見ありがとうございました。地域が要望している学校になるためには、学校が元気にならなければならないし、子どもたちに進路実現をするために、具体的な方策を示していかなければならない。スーパープロフェッショナルハイスクール事業へ参加できるように取り組んでいきたいと思っております。その内容につきましては、第3回の際にはお示しできるかと思います。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

5 諸連絡 次回の学校評議員会は日程が確定次第連絡 (1月中旬)